

小型,中型バーナー用酸素発生機

酸素ジェネレーターEX-20 説明書



この酸素発生装置は、本体のスイッチを ON にするだけで大気中の空気を取り込み、内部のコンプレッサーで圧縮してベッドと呼ばれる部品の中のゼオライトにより、酸素と窒素に分別を行います。

窒素はそのまま大気中に排出して、酸素のみを内部のレギュレーターを経由して、酸素バーナー用に供給する装置です。

元々は医療用に使用されていた機種を、ガラス工芸用として仕様変更し、ご家庭でも酸素バーナーをお使い頂けるように開発された再生品であることをご承知の上、お使い下さい。

【設置をする際にご確認下さい】

1. 梱包用の箱からジェネレーターを取り出す際、輸送による破損が箱にないかどうかご確認ください。箱に破損のある場合は速やかに当社までご連絡ください。
2. 屋内の水平な場所に設置して下さい。
3. 空気が換気扇などで循環する部屋で、壁から 30cm ほど離れた場所に置いてください。
4. 設置場所は、できるだけ清潔で、湿気のない、涼しい所で、御使用下さい。
(湿度が高いとゼオライトの能力が低下します。)
5. アップトランス(変圧器)を使用し、電圧を米国標準と同じように設定し、壁のコンセントから直接接続するようにして下さい。

タコ足配線は発火の原因になるので厳禁です。

アップトランスなしで使用すると、本来の性能が最大限に引き出されず、途中で止まったりするなど、性能が不安定になります。

6. 機械側面のパネルを開けインレットフィルターが真っ直ぐに、しっかりと固定されているかご確認ください。



インレットフィルター

製品仕様

EX-20	
排出圧力	16~18PSI
流量/分	0~10LPM
必要電力	115~120V/600W
重量	約 27kg
酸素濃度	90%±4%
サイズ	幅 40 cm×奥行き 34 cm×高さ 66 cm
適正室内温度	15℃~32℃
保管温度	18℃~37℃
保管湿度	95%まで
コンプレッサー内部の温度	51℃
コンプレッサー安全装置作動温度	64℃
使用可能の標高	2250m (7500 フィート)
無償補償	納品日より半年間

※ 酸素濃度は室温、湿度、標高などの使用環境により若干変化します

※ 著しく低音、高温になる場所での保管は避け、上記の使用室内温度の範囲で
ご使用下さい。

各部名称

① 電源スイッチ・ランプ

運転のスタート、ストップの際に使用します。「O」はオフの状態で、

「I」はオンの状態です。運転中には、ランプが点灯します。

※電源を入れたら暫くの間(10~15分程度)即作業を開始せず、慣らし運転を行って下さい。

② 酸素噴出口

こちらより、酸素が出てきます。

適切なチューブを接続して下さい。

③ フローメーター

上部のつまみで酸素流量を調節します。

(左回しで増量し、右回しで減量)

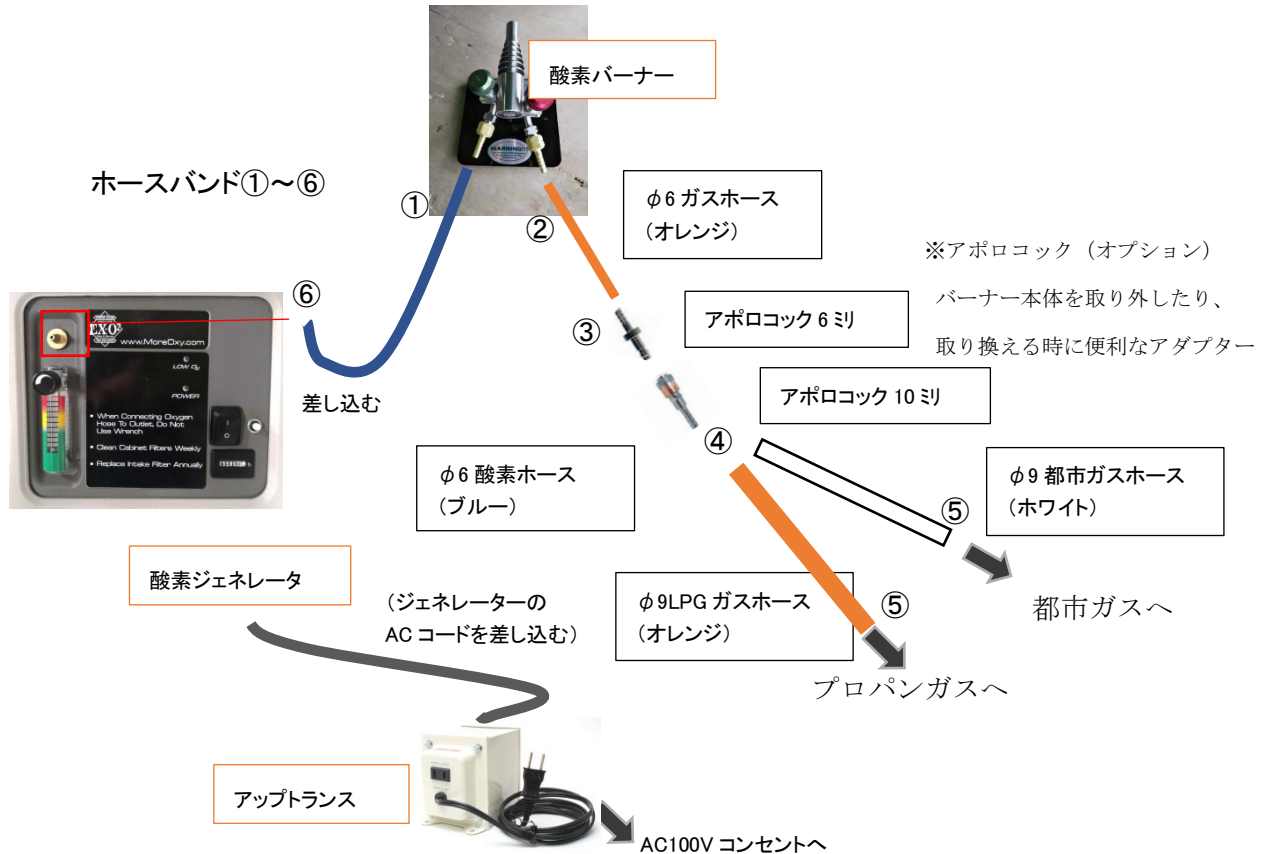
メーター内部のボールを目安にして下さい。

小型バーナーの場合5の位置に、中型バーナーは各スペックにあわせ、それ以上に設定して下さい。

※流量を多くすると、酸素濃度が落ちる場合があります。



バーナーとジェネレーター接続概要図



酸素バーナーの口径によって③④が必要になる場合があります。

使用手順

【電源の入れ方】

1. 酸素発生装置背面下の電源プラグを変圧器(アップトランス)の出力側の上に差し込み、その後アップトランスの電源プラグをご家庭の100V電源に差し込みます。2台までの連結でしたら単一回路で使用できますが、同じ回路に消費電力の多い他の電気製品が使われていますと、ブレーカーが落ちる事もありますので、その場合は当社と最寄の電気店にご連絡をください。
2. ガスホースとバーナー本体、酸素ホースをバーナーとジェネレーター間に接続してください。ホースの接続部分はホースクリップでしっかり固定して定期的にホース表面のヒビ割れなど劣化がないか確認してください。
3. 酸素ジェネレーターのスイッチをONにして3~5分ほどウォームアップをさせ、排出する圧力と酸素濃度を安定させます。フローメーターのボールの位置を最大流量に調整してください。

(EX-20: 10 LPM)

【バーナーの点火】

1. お手持ちの、酸素バーナーのガス調整つまみをゆっくり開いて、点火を行います。
2. ガスのみの炎(黄色い炎)が点いたら、その後ゆっくりバーナーの酸素調整つまみを開きます。この時に、酸素発生装置の本体のフローメーターの流量を調整しながら、作業に必要な炎をつくります。
3. 一度、炎が安定したら、バーナーの調整つまみで炎の調整を行います。

※バーナー点火時にのみ、酸素のつまみを閉じます。そしてガスのつまみを開き、着火マン等でバーナーを点火させます。ジェネレーターを運転させながら酸素のつまみを閉めたままにすると、ジェネレーター内部の圧力が上がりすぎコンプレッサーが停止する事があります。御注意下さい。

【バーナーの消火】

1. バーナーの酸素のつまみを閉じます。
2. 次にガスの元栓を締め、ホースに残ったガスを出し切るため、しばらくオレンジの炎が消えるまで出しておきます。消えたら、ガスのつまみも閉めて下さい。
3. 酸素ジェネレーターのスイッチをOFFにしてから、再度バーナーの酸素つまみを開けジェネレーター内部の残った空気を出します。
4. 使用後は電源コンセントは抜いておきましょう。

注意点とメンテナンス事項

1. 酸素発生装置は、お手持ちの酸素バーナーにあったスペックの機種をお選び下さい。
2. 酸素バーナーへの酸素を供給する用途にのみご使用下さい。
3. この酸素発生装置は、精密な機器を内部に搭載しておりますので、分解や改造は絶対に行わないで下さい。
4. 装置内部のコンプレッサーに、モーターが搭載されており、運転開始時には特に電力を要します。タコ足配線での他の電気製品と同じ回路でのご使用は避けて下さい。
5. 転倒させたり、強い衝撃を与えたりしないで下さい。また本体に向かって、バーナーの炎を向けしないで下さい。
6. 適正室内温度の環境で使用して下さい。あまりに気温の低い環境で使用されますとコンプレッサー内部のグリスが固まり、正常に作動しただけでなく、故障の原因ともなり得ます。
7. 一度、ジェネレーターのスイッチを OFF にしたら、(バーナーの酸素つまみを開けて)、ジェネレーター内部の酸素圧力を全部出してください。次に作業を開始するまでに2~3分ほど間隔を開けてください。
8. 使用中は酸素バーナーの酸素つまみを閉めないでください。この事でジェネレーターの内部の圧力が高まり運転が停止する事があります。停止した場合はバーナーの酸素つまみを開け、数分間圧力を抜き再スタートしてください。
9. 機械側面のパネルを外すとインレットフィルターがあります。インレットフィルターは約半年ごとに交換してください。フィルターを戻す際は真っ直ぐ差込みしっかりと固定させます。
10. 1週間に1度は、両サイドについている長方形のキャビネットフィルターを掃除機で吸うなどして掃除してください。
11. 本機内部では、ベッドの中のゼオライトを用いて、酸素と窒素のガス分離を行っており、そのゼオライトのあるベッドには交換の時期がございます。酸素排出が低下した場合は、ベッドの交換が必要となりますので、弊社まで一度ご連絡下さい。(スイッチ下部のメーター値を記録しておいて下さい。)
12. お送りする際の梱包ケースは、精密機器である酸素発生装置を安全に運搬し、かつ保管することの出来る専用ケースも兼ねています。メンテナンスや修理の際の返送、また長くお使い頂く為にも、梱包ケースは処分しないで大切に保管して下さい。
13. 装置周囲での喫煙はお控えください。

キャビネットフィルター



こちらの商品につきまして、お気づきの点等ございましたら、
お手数ではございますが、下記までご連絡下さいますよう、お願い申し上げます。

《お問合せ先》

ロペックスインターナショナル株式会社
本社〒664-0843 兵庫県伊丹市岩屋1丁目1-18
TEL:(072) 767-1091 FAX:(072) 767-1097
E-mail contact@ropex.com URL <http://www.ropex.com>